

LPガスCP情報(2014年6月積み)

1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **835** ^{ドル} (前月比 +25 ^{ドル})

ブタン **835** ^{ドル} (前月比 +10 ^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、前半は各国の祝祭日等で市場関係者が連休でマーケットは閑散、不需求期で需要は弱く供給も潤沢でスポットは軟化した。中旬以降は6月積みアクセプタンス待ちの様子見だったが、トレーダー勢の買い、石化の需要もあって反発、第4週には原油市況の急騰やナフサ市況高騰の影響もあって続騰した。CP先物は第2週まで続落したが、第3~4週に続騰、6月限はプロパン、ブタンともに845 ^{ドル}に達した。なお、期先は8月限までコンタンゴ(期先高)からバックワーデーション(期先安)に転じた。高騰していたフレート市況は船舶需給が緩和し80 ^{ドル}に軟化した。ナフサは原油高と石化・ガソリン需要増で強基調、975 ^{ドル}まで上げており、ブタンを下支え。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン2ポイント、ブタン0.1ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン6、ブタン3ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	121	93	80	80	94
CP先物指標：P	794	791	812	845	811
CP先物指標：B	809	811	817	845	820

② 原油市況等

原油市況をみると、5月WTIは99 ^{ドル}台で始まったが、ウクライナ情勢の緊迫化やリビア情勢など地政学的リスクが下支えして7日以降は100 ^{ドル}台を維持した。クッシングの在庫が減少していることも買い材料(2008年以来の低水準)。一方、米原油生産量は1986年10月以来の高水準が続き輸入は減少したものの全米原油在庫は記録的高水準。なお、米国の景気楽観論による株高と中国景気減速懸念は強弱それぞれの要因となっている。原油先物市場は投機資金が再び流入、総取組高は163.5万枚、20日時点の大口投機玉の買い越しは41万枚と最高水準に迫っている。

○5月積みアラビアンライト(5月1~28日)は107.51 ^{ドル} (前月比+1.15 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン 881.47 ^{ドル}/トン ブタン 869.38 ^{ドル}/トン

AL比 プロパン 94.73% ブタン 96.05%

***上記ALはE I N推計値、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2014年6~7月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	102.69	85,746	85,746	+2,100	+600
26~25日②	102.88	84,600	85,400	+2,800	-1,100
1~30日③	102.84	84,600	85,400	+2,800	-1,100

*TTS平均は①が5月16日~5月29日まで、②は4月26日~5月25日

③は5月1~30日、①は7月仕切への影響、②~③は6月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。